

筑波大学附属高等学校長 大川 一郎

第66回 高等学校教育研究大会のご案内

秋麗の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、本校では、来る12月3日（土）に第66回高等学校教育研究大会を開催いたします。今年度も各教科の公開授業と分科会を中心に大会を構成します。授業を2時間公開する数学科・外国語科をはじめ、7教科の授業をご参観いただき、分科会においてもご参加の皆様と議論を深めたいと考えております。さらに今回は児美川孝太郎氏をお迎えして、「キャリア教育をつくりかえる—これまでの点検、これからの創造」と題する講演会も企画いたしました。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

- | | |
|-----------|--|
| 1. 主 催 | 筑波大学附属高等学校 |
| 2. 期 日 | 2016年12月3日（土） |
| 3. 会 場 | 筑波大学附属高等学校（案内図参照） |
| 4. 参 加 費 | 2,000円（資料代を含む）
社会人学生を除く学生・大学院生は資料代のみ1,000円 |
| 5. お問い合わせ | 筑波大学附属高等学校 研究教職部
東京都文京区大塚1-9-1
TEL 03-3941-7176 FAX 03-3943-0848 |

※参加申し込み方法は「研究大会トップページ」をご覧ください。

※参加費（学生・大学院生は資料代のみ）は当日、受付にて申し受けます。

※お弁当の販売はいたしませんので、昼食をご用意ください。

※本年度の研究大会は、筑波大学教員免許状更新講習としても開催いたします。
教員免許状更新講習を受講の方も同時参加されることをご承知おきください。

※学生・大学院生の分科会への参加につきましては、教科によって人数や協議内容の都合からお断りすることがあります。

※学生・大学院生の授業の参観は、普段でも受け付けていますので、そちらもご利用ください。参観可能な時間や人数は、電話でご確認ください（なお、お申し込みは指導教員を通してお願いします）。

※学校長あて書面のご案内を郵送でも差し上げておりますが、届かない場合はお知らせいただければお送りします。

6. 時程

(分科会の終了時刻は各教科で異なります)

時間帯	内容	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	外国語	芸術
8:50	受付							
9:20	I 講演	児美川 孝一郎 氏 「キャリア教育をつくりかえる—これまでの点検、これからの創造」						
11:00	移動休憩							
11:20	II 公開授業 I	国語総合 1年2組	政治経済 3年3組	数学 B 2年2組	物理 3年選択者	体育 3年 種目選択者	コミュニケーション 英語 I 1年4組	美術 II 2年5/6組 選択者
12:10	昼食							
13:10	III 公開授業 II 分科会	分科会	分科会	数学 I 1年5組	分科会	分科会	コミュニケーション 英語 II 2年6組	分科会
14:00	IV 分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会
16:30								

免許状更新講習の受講者は 15:30 より試験の予定

7. 講演

「キャリア教育をつくりかえる—これまでの点検、これからの創造」
講師 児美川 孝太郎 氏 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

8. 公開授業

教科	科目	クラス	授業担当者	授業テーマ
国語	国語総合	1年2組	赤松 幸紀	国語辞典を通して言葉との関わりを考える
地歴公民	政治・経済	3年3組	熊田 亘	公共性と財政の役割
数学	数学 B	2年2組	川崎 宣昭	ベクトル
	数学 I	1年5組	矢野 一幸	データの分析
理科	物理	3年選択者	鈴木 亨	高校生活最後の授業 —宇宙論へのアプローチ—
保健体育	体育	3年 種目選択者	鮫島 康太 藤生 栄一郎	選択実技の指導 ビーチテニス・ヨガ
外国語	コミュニケーション英語 I	1年4組	河野 雅昭	英語を使う力をつけるために
	コミュニケーション英語 II	2年6組	浅見 道明	
芸術	美術 II	2年5/6組 選択者	和田 肇	水硬性石灰によるレリーフ制作

9. 教科分科会のテーマと内容

国語 副教材・参考資料の効果的な使い方

国語の授業は教科書とノートだけでは成立しない。各種辞典、国語便覧、古典文法テキスト、漢文要説、年表、地図、系図、文学アルバム、朗読音源など、多岐にわたる副教材を援用して初めて効果的な授業が展開される。国語の授業での副教材の効果的な利用法を、具体的に検討したい。

地歴公民 公共空間における主体性と寛容さを考える

近年、議論となっている「公共」という語であるが、それは「公」にも「私」にも属さないような曖昧な空間であり、生徒にとってもイメージがしにくい。一方で、現代社会ではボランティアなど市民の自主的な活動が見られ、昨今のAL導入の話題とも相まって、生徒の主体性育成の取り組みが盛んとなっている。確かに主体性は公共空間を支える原動力となるが、そこでは常に合意形成が求められており、他者を受け入れる寛容さが必要となる。こうした公共空間において、生徒に主体性と寛容さのバランスをどのように考えさせるのか、議論したい。

数学 公開授業についての授業研究

2つの公開授業についての授業研究を行う。授業研究では、生徒自身に数学的な分析をさせたり、グループ内で討論をさせたりすることによって興味関心を持てるような授業の進め方や教材作成の工夫など、様々なスタイルが可能な数学的活動の授業のあり方について討議を行いたい。その中で、何のためにそれぞれの数学の内容を学ぶのかを生徒に意識させながら、授業の目標をはっきりさせる工夫をどのようにすればよいかについても検討したい。

理科 現教育課程の実践と課題

「基礎科目」と「発展科目」に分かれた現教育課程の実践を振り返り、指導対象・内容・方法、センター試験の科目選択への対応などの、諸課題について議論したい。本校を含めて、分科会参加者の各学校の状況を共有し、現教育課程の指導で考慮すべき点について考えたい。後半は科目ごと（物理・化学・生物・地学）に分かれて、さらに討議を深め、授業展開についての意見交換なども行ないたい。

保健体育 体育科におけるアクティブ・ラーニングとは何か～3年選択実技を通して考える～

次の学習指導要領改訂の際には重要視されるであろう「アクティブ・ラーニング」。身体運動である体育は、「座学とは違い、能動的であり、主体的、協働的な学習活動と言えることからすでにアクティブ・ラーニングはなされている」との見方もあるが、果たしてそうなのであろうか。今回は、高校3年生で行なっている「男女共習による選択制授業」を元に、体育科として目指すべき「アクティブ・ラーニング」とは何かについて考えてみたい。

外国語 インテイクを効果的にする工夫

英語によるインプットのうち理解され受容された分、すなわちインテイクの質と量を確保することが、日々の授業で求められている。そのためにふたりの授業者ともにそれぞれの工夫がある。分科会は公開授業の合評会形式で行う予定である。望ましい授業について、特にインテイクの質と量を高める工夫とそれを発表につなげる道筋について、具体的な授業場面の検討を通じてご参加の皆様とともに考える場としたい。

芸術（美術） 発想・構想を活性化させるために

創造的な造形活動のために発想や構想をどのように活性化させるか、単に表現の契機としての動機づけという側面からだけではなく、文化史の中での造形の意味や言語活動との関係など美術教育を取り巻く様々な観点から考える必要がある。分科会では本校での実践の紹介と共に題材のあり方等も含めた意見や情報の交換を行いたい。